
パソコンのゴミ箱

敬愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パソコンのゴミ箱

【Nコード】

N8344J

【作者名】

敬愛

【あらすじ】

完結しました。イエイ！と言って十篇くらい書いたら復活するかもしれません。もうエネルギー使い果たしました……。しかし復活！2は完結。現在パソコンのゴミ箱3も構想中！だったのですが2週間くらいで30篇仕上げたのでもう連載始めてます。なんで30にこだわるのかよく分からないのですが……。

スケープゴートにされたY・K（前書き）

ブルーハーツの「ハンマー」のパクリ。
裁判官が使う木槌。怖いですよね。音が。

スケープゴートにされたY・K

B r e a k B r e a k

積み上げられた ジェンガみたいな経験

C r u s h C r u s h

東西を分けていた ドイツの歴史

崩れ去った後 見える出口

迷宮は終わりさ お疲れ様でした

空を漂うD r a g o n f r y

池のほとりの 安全柵にとまってる

羽をむしりつつて

飛べないD r a g o n

僕らだって 同じさ

神の名のもとに裁かれ

天国から人間界に落とされた

操りの天使

W a k e u p W a k e u p

凍った心がひび割れて 砕け散ってしまう前に

O p e n e y e s O p e n e y e s

始まりの合図 見逃してしまう前に

メービウスの輪を断ち切って ひどい地震の後

地獄絵図さ すいませんでした

悪い事をしたと思うなら まず謝れよ 総理

人殺し等問題外 (C r a z y g u y)

フラッシュが眩しいかい？

お前に光は似合わない

未遂で終える俺は賢人

見る人見ればただの変人

エンジン全開で車に突っ込んだじゃう奴もいる世の中

広がるベンジンの匂い

この世の果てで 罪を悔いる

神の名のもとに裁かれ

人間界から地獄へ落とされた

操りの悪魔

E s c a p e できなかった スケープゴート Y・K

悲しいね 人が人を裁くなんて

いかずちよりも怖いよ

大衆のカナズチ

恥知らずのオイラはパクるよ

ハンマーが振り下ろされる（神のいかずち）

ハンマーが振り下ろされる（閻魔のカナズチ）

僕等の脳天に

ライフ（前書き）

AQUAとNEWSとBOAの影響を受けたと思います。

ライフ

幸せになれると信じていれば

いつか幸せになれるさ

そろそろ歩いてないで

走り出そうよ みんなでさ

裸で海に飛び込んじゃえ

それはとても気持ちいいこと

いつまでも続くわけじゃないけど

目に耳にしっかり焼き付けて

大切にしまいこんでいた写真を見て

思い出にひたるのも良いよ

そして涙を流したら世界はほらバラ色さ

失敗も成功も運次第

神様を怒鳴りつけても聞く耳なんてもってくれない

だから自分の言葉で自分の力で愛を取り戻そう

赤ちゃんだった頃の時みたいに

覚えているんだ　ほんとね

忘れてしまったけな　忙しすぎて

休日に部屋の片付けでもして

明日はマンデー

ほらまた始まるよ　どこまでも鮮やかな

パレットの上の絵の具をキャンバスに塗り付けよう

ウィークエンドには　ほら1枚絵が完成しているから

だから　行こうよ　人生は楽しいドライブ

でも少しだけの悲しい　ライフ

ビールが飲めるって幸せって思う（前書き）

約束を破って昼間から飲む酒ってなんでこんなに美味しいんだろ。

ビールが飲めるって幸せって思う

もし僕が死んで

誰も悲しまないとしたら

それはありがたいことなんじゃないか

後追い自殺が出る程著名人じゃないしさ

いやそれは違うって言う人もいるかもしれない

でも誰にも愛されてないなら

せめて辞世の句は さよなら ありがとう

言ってやりたい

なんてね

涙もよだれも流さず

うんこもしつこも漏らさず

きれいに死にたいなあなんて夢想。

でも違う 空想なんだよ

だって僕は起きてるんだからね

だから夢って言葉はきれいだなあって思う

こんなに色んな形で色んな色で色んな意味で

素敵かもしれない

全部嘘だよ だって感傷にひたってるだけだもの

それに最初に書いた4行があまりにもあまりにも

言いたくないけど無気力

美しい記憶 希望の言葉 へ、また飲んでるだろ？

逃げていったよ 幸せの青い鳥は

僕に愛想をつかして

想って言葉を使うのはこれで5回目だね

信じてるよ 思いより思いが大切だって

当たり前的事だけでも

今 溢れそうなんだ 思いが

相手もないのに

でも気付いてないだけなのさ

本当はみんな想う力を持つてる

それを強さに変えていけたらいいねって

天使のささやきが聞こえたんだよ

姿が見えないけど　きっとあの夜空の星に住んでいるんじゃないかなって思う

何故想うじゃないのかって聞かれたら困るけど

だって大人になったんだぜ　もう40さ

人生の半分だなんて思ってもいいだろ？

後何回想えるか　誰にもわからないんだからさ

今日は10回想ったよ　父さん

ビールが飲めるって幸せって思う(後書き)

ちょっと暗いですけど介護の仕事やってたからかな。え、関係無い？
そりゃすいません。

最後の一行は蛇足です。

あくび（前書き）

真夜中に寝ぼけながら、シラフで、適当に書いたわりには
筋がまあまあ通っているので投稿。

黒夢の影響受けてるかな。「スプーンとカフェインで奴らを飲み込
め」

って歌。

あくび

好きだの 嫌いだの もうやめようぜ
疲れるだけだし 悲しいからさ

どうして地球は丸いのか
そりゃ一周してみたい人の為さ

旅すりゃわかる
全ては繋がってるんだって

地球は青かった ガガ・リンが言ったけど
正直者だね 僕なら金色だったって言うよ

きつと誰もが孤独を抱えてる
それを癒したいなら 触れ合う事
でもそれは安易な行為 より良く解決するために
思考の回路を海遊

オブラートに包まれたギスギスな心の人が作った歌は
聞きたくない

尾崎みたいな歌？でも彼は愛に侵されて死んだよ

こんな世の中 いずれ溶け出し暴かれ 噴火したみたいに
有名人は怒る 謝る ゴシップ記事に踊らされてさ

そういう人の気持ち分かる？
案外オイシイ そう思うからまたやるんだよ

民衆は踊りだす 祭り好きだからね
でも僕の世界はモノクローム

まだ外は暗い でも落ち着くんだ
太陽が昇る前に 冷たい月を抱きしめられたら

そんな夜と昼を繰り返す

絶対 前進 自信はないけど

まぶしい季節を待ち望んでる
僕のかすみ目は遠くを見てる

その時まで口を閉じ 耳はふさいで
ただ静かに心の闇に光差すまで

景色を見つめる 過ぎ去って行く
時と同じくらい 大切なんだよ

あくびしている暇はないさ
コーヒーを飲みながらタバコでもふかそう

七色美人（前書き）

褒める天才シー様先生すら黙らせる程ののっぺり感。
22歳の時に書いたんだよね。

クレオパトラさんも

ブログで紹介してくれてるけど。敬愛の事。

でもこういう

系統の書くと株価が低下するそんな詩です。

後2、3個ありますよ。お茶漬けみたいな味するかもね。

七色美人

つかめそうで

つかめない

雲のような君は

七色美人

届きそうで

届かない

空のような君は

七色美人

横なぐりに吹きつける

雪のように 時に冷たく

ベランダの窓から差し込む

太陽光線のように 時に温かく

川があるから 橋が必要のように

橋があるから 人が行き来するように

花粉を求めるだけで 君は

自然と花を咲かせる手伝いをしている

「理屈じゃない」なんて

今でもこれっぽっちも信じちゃいけないけど

メロディーなんていない

ビジョンなんていない 今は

雨上がりの丘の上に

虹の橋がかかって

遠くを見つめる君は
七色美人

七色美人（後書き）

何か若気のいたりって感じで恥ずかしいな。

この頃とはとにかく、いかにして4行の言葉の羅列を作るかでいっぱいっぱいで、型にはめるのに苦心していましたね。

こつこつのいいんじゃない？って人いたら感想下さい！

ホワイトクリスタル（前書き）

これも二十歳前後に書いた詩ですね。覚せい剤のお話です。
ある方と異世界というキーワードで繋がったので投稿する事にしました。

ホワイトクリスタル

彼女は刺激を求めています
私に悪いところなんて一つもない
悪いのは頭だけよ

半ば自嘲的に
半ば誇らしげに
彼女は笑うのでした

そんな彼女に
クスリの魔の手が忍び寄りました

最初は快楽を
意のままに操っているような快感を感じていた
彼女も
現実とあまりにかけ離れた景色の前に
次第に自分を見失って行きました

ある日空から降ってきた白い粉を見て
彼女はこう思いました

「ああ ホワイトクリスタル ここは私のエリユシオン
ハデスも気持ちを良くして踊りだす」
おどけてみせている彼女は幻覚を見ていました
夢を見せてくれる白い粉だと思っていたものは
ただの 雪でした

もしも彼女がひらひらと舞い散るだけの落ち葉
ならばその軌跡を見て誰が美しいと思うでしょうか？

雪解けの少し濁った水たまりが
例え異世界に通ずる扉だとしても
それを覗き込む勇氣さえ彼女にはなかったのです

ホワイトクリスタル（後書き）

覚せい剤は流石にやった事ないな。

遊びでSSRI飲んでた事はあったけど。

整体師の仕事やってたから指が痛くて痛くて・・・。

ひだまり／月の女神に（前書き）

ホワイトクリスタルあんまり面白くないんで、出し惜しみの僕にしては

珍しく連続投稿します。授産施設や特養で働いていた経験からできた作品ですね。（半分嘘だけど）

だいたいにして僕は川柳も俳句も短歌も何の事やら区別がつかない。

ひだまり／月の女神に

「ひだまり」

金縁の

窓のガラスに

注ぎ込む

光の色は

赤とオレンジ

こころざし

同じくせんと

集い来る

色んな仲間

まるで学び舎

人の事

傷つけぬよう

気配れば

おのれ傷つく

事あれど

心曲げ

それでも良いと

言えるのが

尊厳守る

美事なる麗句

形なら

ここにあるぞと
叫んだら

応えてくれた
くたびれながら

それで良し

ありのままで
許さるる

こころ大きい
ひだまりの家

「月の女神に」

歳食えば

体の何処か
傷むのは

仕方なき事
思い患るな

わしならば

死ぬまで生きる
誓った身

騒ぐな小僧
いずれわかるに

死にきれぬ

何も成さず
終わつたら
一矢報いて
光を掴め

うそつきは
罪を背負つて
泣き咽ぶ
私の過ち
底なしの沼

抗わぬ
真実の口
喰い破れ
穢れた右手
それで終いよ

我信ず
最期の刻に
美しき
月の女神に
天に召される

ひだまり／月の女神に（後書き）

無理矢理五・七・五に合わせて作った詩？っていうのかな。

字数が少ないので2作品まとめて投稿するしかなかったのです。

NHK 鬱（前書き）

父親への不満をブログに散々書きまくった後に思いついたこと。

NHK鬱

夜になれば日本放送協会の笑わないアナウンサーが抑揚のない声で話し掛けてくる。

僕は修行だと思って世の中の縮図を四角い画面から読み取る。

何の意味があるのだろーと思いつながら。

もつと小さな世界で充分なのにサラリーマンは話題作りの為に今日も9番にチャンネルを合わせる。苦しい。

もし世界が百人の村だったらNHKなんていない。ニュースはバナナの

皮で滑った人の様にすっ転びながら駆け巡る。

村長は面白い人か、優しい人か、頭の良い人がやればいいだろう。

面白い人ならさもみんなの笑顔を誘うような話術で面白いニュースばかり伝えるだろう。

優しい人ならみんなの心が温かくなるようなヒューマンドラマやどこかの家のカワイイわんちゃん映像でも流すだろう。

頭のいい人なら村人に聖書を読み聞かせ啓蒙し神を信ずれば恐れる物は

何もないと勇気づけ、生活に役立つ知恵も教えてくれるだろう。

9羽のトキが死んだとか、老人介護施設の火事で7人死んだとか、昭和天皇が今日何ml輸血されいつ亡くなられてしまうかとか知らなくてもよくないか？

情報を得てそれをゲロのように吐き出す。
そんなのにはうんざりなんだ。

それでも国会中継を見たり、相撲を見たりする人がいる。
そんな人に言ってやりたい。

野球やサッカーの方がエキサイティングですよと。

ドリームメーカー（前書き）

あれ、十三行詩の事、「ソネ」っていうんじゃないかな。たっけ。
この十年間勘違いし続けてきたのかな？

ドリームメーカー

今日もみんな頑張る
朝から晩まで
大切な何かの為
大切な誰かの為

そんな人達に束の間の休息をと
願ってやまない
歌歌い 夢見せ人
ドリームメーカー

イヤフォンをつければ
そこはさしずめ マイルーム
3Dメガネをつければ
そこはすしづめ ビッグシアター

みんな知っているのさ
限りある人生の中で
どれだけ夢を見られるか どれだけ夢を見せられるか
ガチンコの勝負

スタジオの片隅に落とした音探して
セットの中心で移し絵 映して
スタジオの中心でビートが踊って
セットの片隅でカメラが踊って

学校帰りのお兄ちゃん
ポエムを書いてるお姉ちゃん

夕食作るお母さん
新聞読んでるお父さん

みんなの憂鬱を例えれば
先生のお小言

書き出せない一行
水あかだらけのキッチン
ラテ欄が長いTV欄

そんなガラクタも
一回まばたきすれば
ほら音楽が聞こえてくるだろう？
映像が浮かんでくるだろう？

だからライブへ行こうよ
映画館に行こうよ
そしたら君も

ドリームメーカーの一員さ

ほら行ったじゃないか 昔
結婚式を挙げる前に
マイホームを建てる前に
子供が産まれる前に

そんなイベントも色褪せてしまうから
夢を見ようよ
アウトロの後にエンドロールの後に
涙の欠片を見つけよう

そんなDREAM MAKERS

魂 あなたを守る（前書き）

女性目線でマスターベーション的な詩。だって辛いんだもん。
岡本真夜とか濱田マリとか田村直美の影響受けてるかもしれない。
止まらない未来を目指して、譲れない願いを抱きしめて。

魂 あなたを守る

悲しみにのみこまれないで
あなたの手をはなさないから
たとえ千本の矢が背中に突き刺さっても
血だらけの手で

守るよ

きつと命尽きても
わたしを感じて
それは魂

辛いよね わかるよ
さらけ出して 全てを海に返すから
空が見守っている
青い空 透き通っている

だから悲しみにのみこまれないで
あなたを救う術はこの手にあるから
たとえあなたがあなたを傷つけても
数えているよ あなたの叫び声

だから救うよ
胸にかけたロザリオ
わたしを感じて
それは魂

一人じゃないって教えてあげる
どんな悲しいニュースも 閉じ込めてあげる

どん底の地中に
暗いけど 明かりが差した

だから悲しみにのみこまれないで
あなたが死んだら時を戻したいけど
だって戻れないでしょう
2人が初めて出会った場所には

それでも祈るよ
全ては繰り返し返すけど
あなたの写真
そっと胸に抱いて 記憶の中に

いつまでもね 私の手がしわしわになるまで
その時には傷は癒えてるはずだから
私がお婆ちゃんになったら
私の存在を忘れるくらい 構わない

だから悲しみにのみこまれないで
命の炎は燃やすためにある
限らない宇宙で
ダンスを踊れたら そんな希望は

もう捨てるよ
存在の証
ココロに刻み付けるから
切れない刃で

あなたが死んだらきつとそうするわ
ただ別れの形思い浮かべるけど

そうね 止めましょう

あなたは今を生きてる だから悲しいのよ

いつだって駆けつけてあげる

いつだって側にいてあげる

守るよ、救うよ、いつも祈ってるから

だから捨てないで 自分自身を

ね、魂の存在を感じれば悲しみなんて

ちっぽけなものなんだって

それを信じてる

あなたもそう信じて魂を煌かせてよ

作家といふ生き物　　三島は何故死んだ　（前書き）

僕の詩や童話では人がバンバン死にます。たぶん世の中によっぽど不満があるんでしょう。

あ、これですか？哲学も少しかじるんですよ。お前生意気と思った感想書いて下さい。

作家といふ生き物　　三島は何故死んだ

三島は何故死んだ？

百まで生きるって言ったじゃないか
何があつたか

本人にしかわからない

不死鳥の如く

燃えるような灼熱感
ほとばしる血液

解釈する奴だつて

震えるさ

鉄のごとき意志の前に

あなたは太宰を嫌いと言いましたね
ならば理由は違えど
何故自死を選ぶ？

天才って呼ばれる人たちは
何か十字架を背負わされ
作品全てを遺書とするのか

武士道精神はもはやなく
病苦や借金で死ぬ人は
いなくなりました

ラザロを蘇らせられなかった

キリストも

嘘つき呼ばわりされなかったのに

何が信仰だ それは己の事じゃないか
超人を説いたニーチェは
梅毒で死んだんだよ

誰も克服できない
生まれたらいつか
死ななければならぬ

このテーゼに答えなんてない
二ヒリズムを克服するには
6段階の壁がある

心配するな
望まれた命でも
望まれなかった命でも

人は鎖を断ち切らない
生活という名の
命はやっぱり惜しいから

子供の頃に戻りたいなんて
半分ビョーキ 半分健康
死ぬの怖い怖い病って名付けられてる

歩いていくしかないんだ
足跡を消しに戻るのはめんどくさいから
そんな事してる間に太陽が燃え尽きる

これから何処へ向かうかなんて
知るもんか

ダイナマイト抱えてるなら水にでも飛び込んじゃいなよ

銀河に鉄道が架かるまで

それを見届けたいけど

たった一文

T i m e w a i t s f o r n o o n e

それが答えなのかもしれない

作家といふ生き物　　三島は何故死んだ　（後書き）

Time waits for none

時をかける少女アニメ版のワンシーン

実はその時訳せなかった（汗）

このアニメ大好きで地上波で4回くらい見た
泣けますよ

三島関係なくなっちゃった　三島関係なくなっちゃった（はらいち）

光のサークル（前書き）

僕の得意な散文詩です、と言ってブログに載せたら誹謗中傷が2件くらいきました。じゃあ自分で書けよ。

光のサークル

ゴールテープを一番に切り

たい。

光のラインに沿って光速の刃みたいに。

太陽の眩しさに一瞬立ちくらみして。

サーフボードから弾けとんだ。

波乗りの宿命。

翻弄されて。暑い夏の日。波は高かった。

砂浜に好きな人の名前書いてもかき消されるくらいに。

いつも君の一番そばにいたい。

光のラインよ。円となって二人を囲ってくれ。

過去の栄光と未来への憧憬。

二つに分かつのは光のラインだった。

鳩時計が午前零時を知らせて。

ガラスの靴が片方脱げてしまう。

ヒロインの宿命。

全てが水泡に帰して。

悲しみの涙。外は雨。星も見えない。

感情等捨ててしまえばいい。

光のラインよ。映して彼女を月のスポットライトに。

僕の、僕だけの彼女。

信じているよ。また会える事。

眩しい太陽の下で。優しい月明かりの下で。

昼も夜もなくて。

例えば光のラインが行く先を照らしてくれなくても。

君の香りが呼び覚ます。僕の本能。

る。

探し出すから。見つけ出すまで。

未来は映せないけど。過去を呼び覚ます。

光のライン。薬指の宝石に反射してキラキラ光ってい

ありがとう。

ゴールテープを一番に切りたかった。

光のラインに沿って光速の刃みたいに。

君に会えて良かった。

二人を包んでくれ。光のサークル。

見つけ出したよ。心の中に。

君の温もり。

シンデレラ姫と王子の様に運命がきつと引き合わせる。

ガラスの靴がひび割れていても、夢じゃない証拠さ。

愁人（前書き）

子供を交通事故で亡くしちゃった母親の気持ちってこんなじゃないかなと

思って20歳くらいの時に書いた詩です。特に自分では読んでみて何も感じません。命という字の繰り返しをみみずに暗喩しているところが上手かなと思います。

愁人

人々は「早く忘れなさい」と言うけれど忘れられるものですか
たった一人の我が子の命 あの子の命は私の命
代われるものなら 代わってやりたい

主を失ったそのままの勉強部屋が
減る事のない一揃いの夕食が
あの子の存在を証明している
私の心の中の

筆筒の中を探しても 靴箱の中を探しても
私の探し物は見つかりはしない
見つかるのは見つけたくもない
引き裂かれた自分の姿だけ

人々は「一時的なものだよ」って言うけれど
命 命 命 命 文字で書いたって伝わりはしない
まるでみみずがのたうちまわっているよう
行き先を忘れて

例えばいつか私が死んで その体が灰になっても
燃え残った思念は 天に届くに達しない
そして雲が泣くのを見て
あなたたちは私の悲しみの深さを知るでしょう

私は確信しているのです
空が代わりに泣いてくれるのだと
とらわれの囚人のように

かこの中で小鳥がさえずっていました

桜咲く頃（前書き）

童話風ポエム。ホントはもっと幻想的になる予感がしてたんだけど。春だから何思いついたかふわふわしてるうちに感触忘れちゃった。

桜ポエムにはまた挑戦してみたいですね。

桜咲く頃

おさげ髪と黒ぶちメガネが似合ってた君
僕も君もお互い名前すら知らない

いつも遠くから見つめていた
向こう側の駅のホーム 君の姿を見ていたくて
電車をわざとやり過ごした事もあった

知りたい 君の事を
帰り道 始まったばかりの
バッティングセンターでホームランを打てたら
声をかけよう
そう決めて百円を投入するけど
気持ちみたいに空振り

あーあ 春なのにせつない
僕の青春もせつなに
そんな事考えていたら
自転車で飛び出したくなった

僕にのしかかる片思い
君とチャリンコ2人乗り？
だったらいいのに

いつの間にか大きな桜の木の下に来ていた
落ちている花びらを抱きしめたくなくて
一枚拾ったら 誰かが僕の手を握った

それは君だった

一杯の花びらを僕に握らせて彼女は言った

「私は桜の妖精 いつも見ていてくれてありがとう
でももうさようなら 桜が散るから」

去っていく君の背中に そのまま消えてしまうのだろうか
「好きだよ」 やつと言えた

真夜中 桜の花びらを大事に握りしめて・・・

愛しさが溢れてくる

窓の外へ花びらを散らした

花びらはひらひら ひらひら
名残惜しくなって

一枚の花びらを手の平につかんだ

夢で会えたら・・・

次の日 向こう側の駅のホーム 彼女はいなかった

代わりにカラーコンタクトをしたショートカットの君がいた

君は僕に手を振る

僕も一枚の花びらをつまみながら手を振った

今度聞いてみよう

「夏は何の妖精になるの？」

時計（前書き）

完全にネタ切れ……。ブログに載せてた奴載せます。
感想？来るわけないでしょ。散文詩？っていうのかな。

時計

二十四時間僕は時計を凝視する

時が過ぎ去るのを 待ち望みながら 忌々しくも思いながら

ぐるぐる回る メリーゴーランドのように

そうして一日が過ぎていく

僕は眠らない 眠れない

続いていく ストーリーなんてない

夢を食べてしまう バクもあきれるほど

マッチ売りの少女 夢を見ていた

一瞬の幸せな夢を そして眠りについた

そんな死に方 寂しすぎやしないか

夢なんてなくても 生きてはいける

でも花の挿さっていない花瓶のように虚しい

せめて見てみたい 今とは違う輝く未来を

僕は時計を見つめる

急いで待っている人の所に行かなくちゃいけない

しかし僕は時の囚人だ

僕も待っている事を伝えられたら

でもきつと来てはくれないだろう

僕は時計を見つめる

何も起こらない

ただ心臓が動いている

それだけなのに痛い

孤独 絶望 恐怖 闇

仲間 希望 安心 光

移り変わって行く

心が悲鳴をあげそうになるのを

抑えて 祈る

すると時計は止まった

時間から開放され 自由を手に入れた僕は

陽が昇れば起き上がり 陽が沈めば眠る

そんな当たり前の事にカタルシスを感じた

時計（後書き）

明るい詩、明るい詩、明るい詩・・・。今後そついう方向性で行きたいんですけどね・・・。

てるの唄（前書き）

こついうのホント好きだな、俺。
詩をなんだと思っているのじゃ！

てるの唄

愛情確認 愛情確認 今日も指差し 一人よがってる

彼氏の携帯チェックしちゃってる メールもTELも何度もしてる

迷惑なのはわかってる それでも彼氏にぶらさがってる

いつも彼の事考えてる 愛されてるのはわかってる

でも夜眠れなくて月を見てる

仕事で疲れてる 彼のTELを待ってる

「男心は冬の空？」

太陽あんなに遠ざかっちゃってる

冬のブリザードもろに浴びちゃってる

会えない時に 愛は刻まれてる

きつとそうだと信じてる

母性本能男はウザがるって

本で読んだけど嘘だと思ってる

TELL ME TELL ME

みんなHとかしてる？

TELL ME TELL ME

ホントは私心閉ざしてる？

TELL ME TELL ME

素直じゃないなあって思われてる？

TELL ME TELL ME

重いところは嫌われてる？

それでも今日も彼氏に

てるの洗礼喰らわせちゃってる

「正直俺は参ってる」

それが男の本音なの？って疑ってる

でも少し嬉しがつてる素振りも見てる

男と女って難しいよねって

結構みんな気付いてる

それでも女はTELLをかけ続けている

この恋終わらないでってどこかで祈ってる

TELL	ME	TELL	ME	TELL	ME	TELL	ME
TELL	ME	TELL	ME	TELL	ME	TELL	ME

でも恋は自己流が一番って

私は感じてる だから続いてる

友達には「恋は毒薬だよ」って教えられてる

それでも 愛情確認 愛情確認 今日指差し 一人よがってる

夜と朝の間に（前書き）

着メロが「瞳を閉じて」でした。

ケータイ社会怖いよ。持つてないからいいけど。

普及し始めた頃はあえてPHSを使っていた。

スカイブルーのスケルトン。オキニだった。

夜と朝の間に

どこか遠くから聞こえてくる音

午前一時

僕は震えている

悪い予感がしている

カバンから携帯を取り出す

知らない番号だった

瞳を閉じてが途切れる

僕から掛けなおす

手は震えている

外は酷い雨で窓ガラスに顔を近づける

映る顔は青白くなっていた

電話は女性からだった

「赤ちゃんが死んだの」

「どちらにおかけしたのですか」

「赤ちゃんが死んだのよ」

僕は携帯をパタッと閉じた

よくある事だ そう思った

電話は一度きりだった

雷が鳴り響いている

今一人、人が死んだ

それは確からしい

何処の誰かもわからない人が

僕は瞳を閉じて君を描く

ソファーに横たわって

今日も明日も僕は満員電車で揺られ

会社に行かなければならないのに

君に会えそうも無い

こんな夜が繰り返されるなんて・・・

こんな朝が繰り返されるなんて・・・

午前六時

鏡をみたらこの世の終わりが来たかのような顔をしていた

ある青年の主張

僕は涙を流す

悲しいから

でも流した涙の分だけ

強くなれる

子供の頃はそう思っていた

金太郎飴みたいな J - P O P

口ずさみながら

歩いてた

大人になって

泣く事が恥ずかしくなつて

男は人前では泣くな

そんな歌を聴いてから

それでも僕も泣きたい時もある

悔しくて 辛くって

逃げ出そうとしたけど

怖くて

そういう時

泣きたければ

泣けばいいよと

教えてくれた人がいた

泣かないって決めて

強がって見せて

人は皆孤独だから
自分だけを信じて

でもその人は
自分に素直になって
心を解放すれば
楽になれると言った

今まで

誰にも言われた事がなかった言葉
みんな精一杯で
他人に構う余裕なんてなかった

その人は一人考えていた
どうしたら世界から争いが無くなるか
良すぎるくらい良い人だった
性善説 信じようと思った

その人は末期ガンだった
余命3カ月と医者に言われていた
でももう3年生きてる
痛みと闘いながら

生老病死
全て苦しい
でも彼が笑うなら
僕も負けずに笑う

喜怒哀楽
全てが宝物です

そして抜けている感情
それは感謝

両親に感謝
友達に感謝
神様に感謝
ありがとう ありがとう

10年 20年
生きて下さい
そして泣き笑いで
あなたを見送りますから

やあ先生 こんにちは
お見舞いに来ましたよ
今日もお元気そうで
何よりです

全ての人が
幸せになれる世界を
望んでいらっしゃる先生
ありがとう

僕は強くなります
先生みたいに
生きる意味を教えてください
先生みたいに

ある青年の主張（後書き）

暇つぶしっすよ。こんな事考えた事もないです。何があるがとうだ馬鹿。

詩じゃないかもしれませんがとりあえず「パソコンのゴミ箱」にぶっこんどきます。

My mind (前書き)

十年位前マイマイマインドという詩を書いた事がある。
明るい詩だった。今はその詩はもうない。

My mind

混沌 破滅への足音

暗転 花火は終わった

ただイライラ もうクラクラ

昇った太陽の光にとろけ出しそう

切り裂き魔が現れても

退治する勇気なんてない

ダンガリーシャツのポケットに

忍ばせた折れそうなナイフ

どしゃぶりの雨の中

一人立ちすくんで

かわい女子学生が・・・

立場を逆転させてみせろよ

隠遁 まだ早い

進展まるでなし

それでも狙ってる

グランドスラム

タバコに火をつけては消し

何をやっているんだ

脳卒中 心筋梗塞の注意書き

何の意味がある

モールス信号

ツーツーツー

暗号の信号に
僕は侵されてる

あーあ バラバラな頭の中
ジグソーパズルのピース
また無くした
完成が近かったわけではないけど

なんだかいつもぼんやり
なんだかいつも投げやり
思いやり
犬に食わせてやり

ペット吐き出す
何だこんな物が
不味くて食えぬ
顔がそう言ってる気がする

あーあ 笑顔の洪水
何も良い事なんかないよって
白い歯を見せて
赤ちゃんを抱いてる

電車の中で授乳している
女性を見て
あれは神聖な行為だと思いながらも
目を背けてる

誤解ばかりで嫌になっちゃう
視界は開けない

残雪の残る山の頂から
いっそ ダイブ ダイブ

夢さ

全部夢さ

でも寝て起きたら

現実という悪夢が待ってる

数珠が

黒い数珠だけが

僕の哀しい傷跡を

覆い隠してくれている

あなたの残像が重すぎるから（前書き）

記念すべき20作目は「花」と「泉」という詩を合体させた

しよーもない詩に仕上がってしまいました。大変残念です。

この9日間詩が書けなくて悩んだ末こんな投稿せざるを

得ませんでした。次回は頑張ります。

あなたの残像が重すぎるから

時の流れは残酷なものね
わたしをこんなに変えていくなんて
今何処で何をしているの
私が愛したたった一人の男

お酒の力を借りても電話を掛けられない
メールも送れない
今はひび割れた花瓶へ
両手をあてがう

どうして離れてしまったんだろう
2人で夜明けを迎えた時
言ってくれたよね
「君を一生守る」って

子供じゃない
子供じゃないって
自分に言い聞かせるけど
慟哭 止まらない

枯れた花が
私を見ている
悲しそうに
哀れむように

どうすればいいのこの気持ち
走り出したい

でも動けない

あなたの残像が重すぎて

おゝ道端で風に揺れる花

名前を覚えてくれませんか

あなたが枯れる時 私も枯れそうで

その前にあなたの ホントの名前を呼びたい

新しい花瓶を買おう

ちょっと痛いかもしれないけどゴメンネ

あなたが部屋に咲いていたらと思うと

心が安らぐから

彼のいた部屋

私のいた部屋

2人の残り香

消してくださいもう終わり

新しい花に

名前を聞いて

明日朝晴れたら

決して消えないそんな始まり

あなたの残像が重すぎるから（後書き）

— 応演歌風ポエムという事でご了承願いたいと思います。

アブナイ親子（前書き）

最近アクセス数多いのに新作載せないのも申し訳ないので載せます。

基本10日くらい空けたいのですが・・・。

アブナイ親子

ヤルかヤラレルか
それしかないんだよ
僕は叫びながら
父に包丁を向ける

二人とも泣いていた
後悔と懺悔
相似する感情 相憐れむ感情
「神様が悪いんだよ。」

父が何か言う
かわいいぼうや
手の平で踊れ
嘔泣きの達人 それが僕

父がまた何か言う
かわいいぼうや
我が胸に抱かれ
腹黒の聖人 それが僕

てるてる坊主
てる坊主
赤ちゃんニヤニヤ
おじちゃん呪文を唱えてる

文殊の知恵など必要ないのさ
生きてるだけで戦争さ

この世の終わりを望むなら
あらゆる全てに freeze out

ピストル出して

こめかみ当てて

それでいいのかい？

最後にお祈りをお忘れなく

止めはしませんよ

止めやしませんよ・・・

引き金を引く瞬間

撃鉄に指を挟んでやったら

痛くて痛くて

泣いちやったよ

でもこれでいいだろ

二人で肩を抱き合って

居酒屋でも行くか？

あてならあるぜ

それとももつと美味しいのが好み？

白桃のラブジュースとか

やくざじゃないけど

俺達二人似た物同士さ

結局二人仲良しなのさ

共通事項をほう！れん！そう！

色々あったけど

憎んじやいないぜ

これからたくさん孝行するから
死ぬなんて言うなよな

アブナイ親子

綱渡りな親子

でも今生まれてから

一番近い距離にいるような気がする

もつと話そう

もつと話そう

お前と向き合いたいから

父さんがそう言ったから

アブナイ親子（後書き）

詩というか家の内情ですね。実話ですって言ったら驚きますよね。
ピストルはないけど包丁はありますよ。ふふふ。切れ味悪いので
人殺すには向いてないですけどね。

F r i e n d

悪い事たくさんしたな
気に病むことは無い
ガリ勉以外
みんなが通る道さ

骨折り橋の下
くたびれ土手で
儲け話を

企んだもんさ

そんな俺達
大人になつて
悪さをすれば
ムシヨ入りの汚名

着せられるくらいなら
自分から着てやる
ライダースジャケット
ワッペンのたくさん付いた

ケツに乗せるのは
キマリが悪い
決まっているのは
今日の晩飯

外食産業
ボロ儲けさせてる

俺達も

住み家は1LDK

お前はいつもソファで寝るよな
タオルケット掛けてやると
ムズがる

俺の優しさだつてムズがゆいさ

いつまで

馬鹿やってられっかな

二人の未来はきっと

ブルーカラー

真つ青な空に

ペツとつば吐いて

子供心は忘れない

俺達の青春 ブルーカラー

女が出来たら教えてくれよ
そしたら

バイクのケツより

女のケツ

あんまり追いかけて回すなよ

風俗嬢に

何十万突っ込んだか

覚えているか？

女なんて

よくわからねえけど

男同士語り合おうぜ
酒でも飲みながら

最高の証だ 腕に刻んだ
俺達のアカシヤ

花言葉は

友情・秘密の愛

大晦日／お正月（前書き）

どうせすぐ来ちゃうんだから。家は母方の実家が寿司屋で大晦日はオードブルを注文してＣＤＴＶを見るのが凄く楽しみです。

大晦日／お正月

「大晦日」

人は世につれ
世は歌につれ
みんなそれぞれ
旅のみちづれ

男はあさはか
女はしたたか
酒はうたたか
願いはささやか

年末年始
何故だかうれし　さりとななし
十年一昔
懐かしく想い出し

ぐるぐるめぐる
自分をめぐる
疑問がめぐる
一年最後の夜

何故悲しむかと
何故喜ぶかと

「お正月」　　替え歌です

もう！いつになったらお正月

お正月にはモツ食べて（ごっつぁんです）

腹を叩いて笑いましょう

早くこいこい猪鹿蝶　こいこい！！！！（賭け花札。）

大晦日／お正月（後書き）

今流行りの二百文字に無理矢理到達させました。

お正月の方はどうでもいいのですが、大晦日（副題いのちの電話）の方を見て頂きたかったのです。

語尾にあ・い・う・え・お、の全ての母音を使うという目標で書いたんですがまあそれ程大した工夫ではないですね。

では新年度を祝いましょう。管内閣の。

S u i c i d e s t o p p e r h i d e (前書き)

高卒、英検3級で無謀にも全編英語詩に挑戦。
辞書とかあんまり調べてないので間違ってるかも。

Suicide stopper hide

I love rock music

Just say now yeah...

Just say now yeah...

My brain loud

I am frozen bug

nothing of mean

nothing of mean

Don't say die

Please pray she is not killed

She want to die

It is continue

Drinking liquor is good

But he said drink or die

It is a mistake

I reduce a him to silence

I love rock music

I love rock music

Just say now wow...

Just say now wow...

I don't like blue sky

Naked eye helicopter world

Because
Sad is only one my heart is blue
I am in the true sense of the
word silence child
I am in the true sense of the
word silence child
Attacked from you myself too much
I am painful

S u i c i d e s t o p p e r h i d e (後書き)

僕はhide様が好きです。しかし亡くなられた今、D・O・DやGOOD BYを聴くと悲しい気持ちになるのです。

幸も不幸も（前書き）

うら若き女性が僕をちよくちよく構ってくれるので（ネット上での話・汗）

出し惜しみせずお気に入りの詩、蔵出しするか。

自分では気に入っているが、大した事ないと思う。いつもそんな感じ。

幸も不幸も

世の中には

色々な不幸の形があるね

それをグニャグニャに丸めて

地球と名付けたらしっくりくるかもしれない

だってそうでしょう

日本の舵取りは国民がやるのに

船頭多くして船山に登る

誰も何もやろうとしない

政治家が頭を悩ませてるって？

今日も金の計算をしてるのさ

それをそろばん塾で子供にでも教えたら

少しは世直しになるかもしれない

世の中には色々な幸せの形があるね

僕は見てきたのに知らないふりをしてさ

ただ歳を取っていく

まともに勉強なんかしないで

だってそうでしょう

幸せを掴んだとして

それが見えた時

人は悲しい事に幸せって何か忘れてしまふのだから

愛 それが真実だとしたらあまりに脆く

有限だけでも

有言実行している

恋人 夫婦 家族 友達

素晴らしい 素晴らしいんだよ

この地球は

幸と不幸をグニャグニャに丸めて
生まれたんだから

だから大切にしなければいけない

水枯れの土地も

涙では潤せない

未来の子供たちに幸多かれ

そう望めば必ずそうなる

僕の妹が言っていた

私はお兄ちゃんを愛しています

僕も愛しているよ

そんな小さな繋がりから

生まれていく

愛の形 幸 不幸の形

蒼い閃光のようにきらめく友人地球号

私はあります

袖口のボタンが留められなくてイライラする事ありませんか？

私はあります

シルバーシートに座っている若者を見てムカムカする事ありませんか？

私はあります

リレー競争でアンカーの子供がバトンを落としてハラハラする事ありませんか？

私はあります。

意中の人に告白されてでもその彼が親友の彼氏でモジモジする事ありませんか？

私はあります

会社のデスクワークで疲れて肩をモミモミする事ありませんか？

私はあります

眩しい太陽の下好みのタイプの男の人を見てクラクラする事ありませんか？

私はあります

カレーうどんを食べる時服にシミが付くのが嫌なんだけどズルズルする事ありませんか？

私はあります

宝くじの番号が同組で5桁まで一等と合致してドキドキする事あり

ませんか？

私はあります

私は夜な夜なありありとその日あった事を夢に見るのです

私はあります（後書き）

こんなの無限に作れちゃうな。レギュラーとかデッサンドトモみ
たいな。

レギュラーはみなさんそろそろお忘れですか・・・？

それでも俺は（前書き）

これです。これ。自信のあるやつって。7月は3篇投稿する予定です。

その子達で評価されないなら一旦連載止めて充電する予定です。

よろしく。

それでも俺は

疲れて疲れ果てちまって

電車で帰社しなくちゃいけなくってさ

ケータイに電話が入ったんだよ

社長から 急な仕事が入ったって

気休めに栄養ドリンク3本も買っちゃって

暑くって暑くって

ミンミンゼミだ はゝ

鳴いているのは

妻と子供とは一週間も会えてないし

パパ、パパって余計寂しいよ ゲームが欲しいの？

ソフト買うためバンク寄る俺

DoCoMoかしこもauを待ち望んでる

誰か言ってよ

頑張れって

でも俺鬱だから

そのword 自殺トリガー

疲れて疲れ果てちまって

同僚に同情されて

出世コースのエスカレーター

こんなにキツイのなら階段最短！

もう嫌になっちゃって

もう自棄終わるって

もう午前1時なんです
がもうさく日本人やめたい

気休めにトマトジュース飲んで
ぬるくって苦くって
眠々打破より
効くかもしれない

親は旅行に連れてけって言うし
パパ、パパって父兄参観なの？
ゴメンネ

お父さん 不参加

誰か言つてよ
頑張れつて
でも俺鬱だから

そのword 視察後liquor

おい父さん母さん
俺スーパードライザーになってさ
スパイダーみたいに
糸ががんじ絡めさ

気付いてよ
気付いてよ
傷痛えよ
傷痛えよ

わかってよ
わかってよ

わかってくれよ
わっかくくるよ

それでも俺は妻の為 子供の為
それでも俺は親の為 自分の為
ストレスと金を貯め込む
酒と一緒に飲み込む

それでも俺は（後書き）

どうですか。働いている皆さん。こういう気持ちになった事ありませんか？

Summer borderline

お気に入りの
ボーダーシャツ着て
飛び出す
自転車で

ギリギリ照りつける太陽
夏が呼んでる
初めてのデートで
キヤッキヤッ君ははしゃいで

Summer borderline
青空と雲
海と砂浜
水しぶきと虹

青春は一瞬
飛び出せ run out
翔び出せ fly away
カッ飛びだぜ don't be shy

はじけ飛ぶスイカ
捕まえたクラブ
砂浜でお城を作って遊んだね
夜は花火

Summer borderline
白い地球と森林 はじけるクリームソーダ

岩肌の地層 甘いティラミス
いずれ来る秋の稲穂と白米 特大ビールジョッキ

君はラビリンス

唇がラビリンス

はるか彼方ホライズン

反比例してズンズン二人の距離は近付く

薄幸 月も照れて姿を隠す

発光ダイオード 青色は高価

幸か不幸か 決まっているじゃん

もちろん後悔なんてしないや

ふつと薔薇の香りがしたよ

甘くて苦いキスの味

髪をかき上げる仕草

せつな

S u m m e r b o r d e r l i n e

囚人服じゃないやい

黒白のZEEBRA

あざけ笑うように黒い影と影が

S u m m e r b o r d e r l i n e

重なる

Summer borderline (後書き)

なんか違うんだよな。何が違うのかわからないが編集すれば少し良くなると思う。

夏が終わっても（前書き）

まだ夏始まったばかりなのにね。五月とかにこういう詩書いてるんだからよっぽど書く事無いのかね。次話で完結します。長い道のりだった。

夏が終わっても

最高の夏だ さあ行こう

L e t ' g o 野郎が三匹

S u n s h i n e さんさん

3 × 3 の出会いにサンキュー

最高の夏だ 採光に g o

日焼けした体

F r e s h な m e e t

3 × 2 は s i x 3 × 3 は n i n e

好きも嫌いも

すもも桃も桃のうち

胸の内明かせない位の

パツパツのビキニ

太腿の内側

セクシー

君達はまるで

夏のピクシー

オイル塗ってとリクエスト

僕たち結構ウブだからそんなのクエスト

くびれたウエスト

家に帰ったら脳内ムービーでダイジェスト

n o n o そりゃないぜ

俺たちイケてないかい

今夜イルカの背中に乗って
向こうの島まで行けたらなんて

妄想してたのに
もうよそうなんて
恋のシーソー
ゆらゆら

野郎三人で
バーベキューでもやろうか
キャンプファイヤー
火の粉が飛んで髪の毛焦げた

線香花火みたいに
チリチリ
やっぱり俺たちには
ムリムリ

ドッカンと打ち上げ花火
土管みたいな筒から
最高の夏だったな
最後の夏だったな

明日から学校
悲しいかな新学期
でも俺たちの青春と言えば
Forever

夏が終わっても（後書き）

うん。最近詩才が無くなってきてる。元々なさそうだけどというツ
ツコミ
は無しで。

愛

形になれない

半端者の俺

愛の欠片を探していたのに

全て集めたらハートが輝くって

勇気を持てない

臆病者の俺

好きな子に好きって言えない

このもどかしさよ

日差しを拒絶して

誰にも見られたくなくって

クーラー欲しいけど

働いてないから買えない

声になれない

救いの言葉

叫び出そうとしても

口ごもっちゃう

愛 万能文化

どんな傷も治してくれる

ただそこにあるのに

高値がついてる

心の中にある黒いわだかまり
血の様な赤い愛が

黒を染め上げていく

きつとそうやって育まれてく

僕にはそんな経験がない

黒 黒 黒

闇の中で手探りして

母の乳房を探す赤ん坊の様に

形はどんな形？

僕の心臓にピッタリはまる？

不安で不安で

僕には愛を持つ資格が無いんじゃないかって

難しい物だね

訳知り顔で

意味を探ってる

意義を探ってる

もしかしたらないかもって

苦しくても

涙は流さず

愛を探す

愛（後書き）

完結しました。プレッシャーから解放されたく。出来の悪いのも良いのも

自分の子供のように愛しい30篇。1度全部読んで頂きたいです。

ではいつか復活する日までパソコンのゴミ箱という詩集を愛して下さいね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8344j/>

パソコンのゴミ箱

2011年10月6日06時12分発行